

# 2018 年度第 3 回 宅地地盤の評価に関する最近の知見講習会 『小規模建物の基礎と地盤、擁壁と盛土の安定、地震による杭被害』の お知らせ

共催：公益社団法人 地盤工学会・地盤品質判定士協議会

後援予定：公益社団法人 土木学会・一般社団法人 日本建築学会

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

NPO 住宅地盤品質協会・一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会

一般社団法人 地盤保証検査協会・公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会

2011 年 3 月の東日本大震災や 2016 年 4 月の熊本地震では、液状化や盛土・擁壁崩壊などで、2013 年 10 月の伊豆大島豪雨災害や 2014 年 8 月の広島豪雨災害では、土石流などにより宅地が大きな被害を受けました。

これらの地盤災害を契機として、宅地地盤の周辺地形地質環境を含めた地盤の安定性と地盤リスクを適切に評価することの重要性が再認識されています。宅地地盤の状況を、限られた情報の中での確に把握・評価するためには、携わる技術者が地盤工学に関する高度な専門知識と技術者倫理を有するだけでなく、常に新しい知見を得る必要があります。

そこで、公益社団法人 地盤工学会では、住宅地盤に関わる最近の話題・知見を集めた講習会の 2018 年度第 3 回『小規模建物の基礎と地盤、擁壁と盛土の安定、地震による杭被害』を企画いたしました。奮って御参加下さい。

G-CPD ポイント：6.5

日 時：平成 30 年 11 月 29 日（木）9:30 ～ 17:30

会 場：地盤工学会 大会議室（東京都文京区千石 4-38-2、Tel 03-3946-8677）

会 費：会員 12,000 円 非会員 18,000 円（消費税を含む）

注：会員には、地盤工学会員、地盤品質判定士(補)、後援団体所属を含む

配布資料：本講習会のために講師の方が作成する説明資料の縮小コピーを配布します。

定 員：70 名

内容・講師（案）：

時 間	内 容（仮称）	講 師（候補案）
9:30～10:10 (40min)	地盤品質判定士による住民相談会の実績と教訓	大久保 拓郎 【株式会社環境地質サービス】
10:10～11:10 (60min)	小規模住宅の地盤調査	酒匂 教明 【日本大学短期大学部】
11:20～12:20 (60min)	小規模構造物の地盤対策	高田 徹 【株式会社設計室ソイル】
13:20～14:20 (60min)	造成宅地の調査と試験	渋谷 啓 【神戸大学】
14:20～15:20 (60min)	造成宅地における擁壁	武田 啓司 【独立行政法人都市再生機構】
15:30～16:30 (60min)	層状地盤・傾斜地盤・切盛境界等での小規模構造物の基礎の設計	松下 克也 【株式会社ミサワホーム】
16:30～17:30 (60min)	地震による杭被害	中井 正一 【千葉大学名誉教授】

注：都合により内容、講師、順番等が変更になる場合があります。

講習会申込み方法および申込み先：

氏名、勤務先・同住所・同電話番号、FAX、メールアドレス、会員（会員番号）・非会員の別を明記した申込書を FAX またはメールでお送り下さい。参加受付後、請求書と郵便振替用紙をお送りいたしますので、会費のご納入は請求金額をご確認のうえ郵便振替（または銀行送金）でお願いいたします。なお、銀行送金の場合には、請求番号と送金日を別途 FAX またはメールでご連絡下さい。

地盤工学会講習会係 E-mail:kosyukai@jiban.or.jp FAX:03-3946-8699 電話：03-3946-8671

<講習会申込フォーム>[https://www.jiban.or.jp/info/application\\_form\\_kosyukai.html](https://www.jiban.or.jp/info/application_form_kosyukai.html)